

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
言葉	1	前期	講義	1	有岡 由香
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 言葉の意義、機能を理解する。</p> <p>(2) 乳幼児の言葉の発達過程について理解する。</p> <p>(3) 言葉に対する感覚を豊かにする活動や言葉あそびなどを知り、実践できる。</p> <p>(4) 言葉を育て、想像する楽しさを広げる児童文化財について理解し、基礎的な知識を身に付ける。</p>					
<p>○授業の概要</p> <p>乳児保育の3つの視点や領域「言葉」の内容についての理解と、それらを踏まえた上で、乳幼児が発達に応じて豊かな言葉や表現を身に付け、伝え合いや想像する楽しさを広げるために必要な基礎的な知識を身に付ける。具体的には「言葉」の意義と機能について理解した上で、子どもの言葉を育て、言葉に対する感覚を豊かにするための知識を身に付ける。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーション・言葉についての意識調査および基礎知識</p> <p>第2回：乳幼児の3つの視点と領域「言葉」について</p> <p>第3回：言葉とは何か① 言葉の意義、機能の理解</p> <p>第4回：言葉とは何か② 命名の機能、弁別性</p> <p>第5回：言葉の獲得① 母子相互作用の理解</p> <p>第6回：言葉の獲得② 出生から3歳頃まで</p> <p>第7回：言葉の発達① 3歳頃から6歳頃まで</p> <p>第8回：言葉の発達② 読み書き能力の発達と理解</p> <p>第9回：言葉あそび① 言葉に対する感覚を豊かにするための知識</p> <p>第10回：言葉あそび② 言葉あそびの保育への取り入れ方、および実践(演習)</p> <p>第11回：児童文化財① 児童文化財の意義</p> <p>第12回：児童文化財② 児童文化財の種類、歴史</p> <p>第13回：児童文化財③ 児童文化財を用いた指導案作成</p> <p>第14回：児童文化財④ 児童文化財を用いた実践(模擬保育)</p> <p>第15回：模擬保育の振り返り及びまとめ</p> <p>定期試験</p>					
<p>○テキスト</p> <p>保育内容「言葉」徳安敦・堀科編著 青踏社</p> <p>漢字検定5～2級+短文書写「実践文字力トリプルチェック」 尚文出版</p> <p>漢字+短文書写ノート 尚文出版</p>					

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

○学生に対する評価

授業への参加度—25% 提出物—15% 小テスト—10% 試験—50%